

祝 奄美群島復帰 60 周年記念



伊仙町

第
39
号

発行 伊仙町議会
〒 891-8293
大島郡伊仙町伊仙 1842
事務局 ☎ (0997) 86-3111
編集 議会広報編集委員会
印刷 スタジオ・ミスト

議会だより

おねがい!

～島の経済を支える～

夏植えにご協力を!

今期の夏植え目標面積は、200ha（伊仙町）です。町民の皆様の力を結集し、島の基幹産業を守り、経済を浮揚させるためご理解とご協力をお願いいたします。

目次

経済建設委員会所管事務調査報告関連	2P～3P
平成25年第2回定例会一般質問通告8名登壇	5P～13P
町民の声・議会の動き	13P～14P
特別支援（養護）学校誘致に関するお願い	14P

平成25年9月議会は9月中旬頃の開会を予定しております。詳しい日程は、伊仙町議会事務局（86-3111 内線16）までお問い合わせください。

■ 経済建設委員会所管事務調査報告書

経済建設常任委員会では、総務文教厚生常任委員会と合同により県外行政視察を実施いたしましたので、調査の結果を別紙のとおり会議規則第 77 条の規定により報告します。

《期 日》 平成 25 年 5 月 23 日（木）～24 日（金）

《視 察 先》 愛知県大府市 株式会社げんきの郷（JA あいち知多 100% 出資）
三重県伊賀市 中林牧場 伊賀の里モクモク手づくりファーム

《目 的》 先進地の取組を調査、研修するため

《視察参加者》

清水委員長、永岡副委員長、美島委員、樺山委員、明石委員、佐藤委員、伊藤委員
琉委員長、前副委員長、上木委員、福留委員、永田委員、常委員、
事務局 桜山、佐平、執行部 牧企画課長 以上 16 名

【株式会社げんきの郷】

- 1. 視察年月日 平成 25 年 5 月 23 日（木）午後 3 時 30 分～
- 2. 視察内容 運営状況等について
- 3. 視察概要 株式会社げんきの郷



JA あいち知多 100% 出資 資本金：1 億円

役員・職員：役員等 10 名 職員 223 名（うち正社員 35 名）

- 客層を絞り込む。（子ども専用トイレ、水遊び場等）
- 品質にこだわる。（品質に自信があるから農家に値段をつけてらっている。）
- 大型店舗が近くに進出してきた場合等は集客率が上がってむしろ自社の売り上げアップにつながる等、何事もプラス面を重視している。
- 集客に向けてのイベントの実施が徹底されていた。
- 生産物が多品目にわたっている。

【中林牧場】

- 1. 視察年月日 平成 25 年 5 月 24 日（金）午前 10 時 00 分～
- 2. 視察内容 運営状況等について
- 3. 視察概要



- 家族で経営している。
- 全頭メス牛の処女牛であり、衛生管理も徹底されていた。
- オーストラリアから取り寄せた乾燥草のみで育てている。肥育後の出荷は、庭先での相対売買で 1 頭 100 万円前後での売買ということです。

【伊賀の里モクモク手づくりファーム】

1. 視察年月日 平成25年5月24日（金）午後2時30分～
2. 視察内容 運営状況等について
3. 視察概要



- ファーム事業、通信販売事業、レストラン事業の3つの事業で成り立っている。
- 会員制度を採っていて、通信販売事業売上げの90%が会員からの注文であることには驚かされました。このことは、私たち離島に住む者にとって、学ばなければいけない点です。
- 農家を大事にしている。
- 手作り教室等、食育をからめてお客様を引き込むイベントを実施している。
- 徳之島産のじゃがいもが売り場に陳列されているのを見てすごく感動しました。
- モクモクの商品は、安くはない、いやむしろ高いぐらいだが、安全性・味に代表される品質・産地やつくり手の顔が見える等、わが徳之島でも簡単に出来ることで強気の商売をしている。

以上、経済建設常任委員会の所管事務調査報告といたします。

～「議会中継」インターネットで随時配信中～

ご視聴ありがとうございます。

おかげさまで、**通算 15,000 アクセス**を突破。市民の皆様をはじめ、町内外からお寄せいただいたご意見やご要望、また納めた税金がどのように使われているのか、すべてが議会中継で視聴できます。議会中継の放送時間は、議会開会中は生放送をおこなっており、生放送が視聴出来ない方の為に録画配信は「24時間いつでも」インターネット環境が整っているお手持ちのパソコン、またはスマートフォンから視聴可能です。

ご覧になられたことがない方は、ぜひこの機会にご覧いただきますようご案内致します。



アクセス方法

伊仙町公式 HP をアクセス→伊仙町公式 HP 内の左にあるアイコンをアクセスすれば視聴可能です。
アクセス後 USTREAM のサイトへ移行します。

連絡先

伊仙町議会事務局（栴山、佐平）

TEL：0997-86-3111（内16）FAX：0997-86-2301

住所：〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町大字伊仙1842番地

平成25年 第2回伊仙町議会定例会 全議案（会期6／18～21）

番 号	議 案 等	採決結果
承認第1号	平成24年度伊仙町一般会計補正予算（第9号）の専決処分の承認	承認
承認第2号	平成24年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	承認
承認第3号	平成24年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認	承認
承認第4号	平成24年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	承認
承認第5号	平成24年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算（第6号）の専決処分の承認	承認
承認第6号	平成24年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第5号）の専決処分の承認	承認
承認第7号	平成24年度伊仙町上水道事業会計補正予算（第2号）の専決処分の承認	承認
承認第8号	伊仙町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認
承認第9号	伊仙町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認
報告第1号	平成24年度伊仙町一般会計繰越明許費繰越計算書	報告
議案第33号	字の区域の設定及び変更について	可決
議案第34号	平成25年度伊仙町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第35号	平成25年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第36号	平成25年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第37号	平成24年度 社会資本整備総合交付金 河地団地建築本体工事請負変更契約について	可決
	伊仙町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	指名推選
	所管事務調査報告（経済建設常任委員会）	報告
	以下余白	

平成25年 第2回伊仙町議会定例会 陳情一覧

番 号	議 案 等	採決結果
陳情第3号	要望書（母 朱春菊が中国で不法に逮捕されている件に関する要望）	文書配布
陳情第4号	違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書	文書配布

平成 25 年 第 2 回 定例会 (6 月)

一般質問



上木 議員

問 A コープ誘致について、(イ) 町有地の無償貸付(ロ) 買物弱者対策(ハ) 店舗周辺の環境整備(ニ) 町関連施設との連携(ホ) JA 施設の統廃合など、至れり尽くせりの優遇条件付との話題である。今、経済不況、極限状況下での生き残りを賭けて、町内零細商業者が持ち堪えている。この事が徳之島の本当の底力だと経済学者の間でも高く評価されている。この力を活用して地域振興策を研究するべきとの提言もある。また、農協は農業者の所得向上に、町行政は町民福祉の増進に、それぞれの本業・任務の趣

答 A コープの必要性について、平成 24 年度の町座談会で多くの町民から、町内に誘致できないかとの意見がありました。また、教職員との町内居住についての話し合いのなかで、就業後の買い物が不便であるとの意見がありました。伊仙町民の 8 割以上が徳之島町内で購買している実態で、集落店舗が廃業に追い込まれました。ここで発想を変えて、町内で購買できる方策を考えて、A コープ会社を説得いたしました。そして、「A コープ建設準備委員会」を立ち上げ、委員長に JA あまみ徳

旨と目的を果たすべきであって、頑張っている「商業者」に追い打ちを懸ける政策を強行することは、農協・町行政の任務の本旨に反する背任行為である。撤回する考えはないのか。

問 直売所「百菜」について、平成 21 年度伊仙町の大きな期待を背負って開業いたしました。「地産地消」をもとに、島内の農産物を島外に移出して外貨を稼ぐ、大きな任務を受け、開業致しました。ところが、初年度の平成 22 年度の決算総会が決算書類の不備で流会になって、正式な決算総会が今日まで開催されないまま、変則異常事態が続いている。先般の総会では、町からの年間 240 万円の助成金と貸付金 500 万円を経費に使用果たし、その上に 670 万円ほどの赤字が出ている状況だと聞いている。伊仙町長と直売所「百菜」の組合

之島事業本部の専務理事を選出し、5 回の会合において 5 項目の協議内容に関して議論し、詰めて合意に達し、町議会・町民各位に理解を賜り事業を進めてまいります。なお、町有地の問題は企業誘致であるので条例も整備されており、その一環でありますので、ご理解を頂きたいと考えています。

答 現在、直売所「百菜」の規約に關しましては、設立時の規約を使っているような状態です。今事業運営で不都合が生じているのは確かです。ですから、この不都合を解消するために、役員会を 1 カ月に 1 回開催することと、この組織の変更と今の出荷組合などの組織の変更をしっかりとしないと運営に支障をきたすという事です。平成 24 年度の決算総会において、そういう議題が出ました。確かに組織的にわかりにくいといふので、組合員全体感覚としても、やはり組織をしっかりと作り直すという所です。ですから半年という猶予を頂いて、役員会、町も支援をしながら組織体制を見直し、確立して少しずつ作り上げていかなければならな

長との業務委託契約も締結されている。事態がここに至ったのは、放置してきた町長の職務怠慢ではないか。責任をどう考えているのか。

問 町財政の健全化、再生について、策定されている中長期財政計画を、もつと内容のあるものに見直し、実行し成果を挙げると 12 月議会で答弁されたが、具体的に改革プロジェクトチームの様な組織体系で仕事が行なわれて実績が挙がっているのか質問いたします。

答 本町の財政については、非常に厳しい状況であることを改めて認識して、職員 1 人 1 人が創意工夫と経済感覚を発揮し、それにコスト意識を持ち、全庁職員一丸となつて、取り組まなければならない

いと思っております。

地産地消の拠点として、少しずつ島内外へ認知されつつある直売所「百菜」。決算総会や経営戦略会議等を定期的に開催し、しっかりと方針を打ち出すことが、今後の経営安定化へとつながる。(写真：直売所 百菜)



と答弁致しました。現在、どのような方策を実行しているのかとの質問でありまして、平成27年、28年に徳之島用水工事の町負担金の一括償還があります。その財源を確保しなければならぬので、平成24年度予算額(平成23年度対比)では、1億5100万円起債削減をしております。また、財源確保のため、事業の緊急性、必要性を考え、学校施設、義名山周辺の整備など新たな事業は27年、28年度以降に先送りする計画で、住宅関連を除いて一切凍結します。そして交付税で基金を積み増しし、伊仙町が財政破綻することは全くありません。町民のご理解をお願い致します。



前 議員

問 町長の次期町長選挙の出馬意向について問う。

答

伊仙町は、これから農業生産額を伸ばしていくかなければならぬ。それから企業誘致も積極的に推進していくことや、百葉も軌道に乗せ、なぐさみ館においては、情報発信施設として、県もかなり期待しているの、これをいかに最大限に有効活用していくか、また長寿子宝プロジェクトをさらに推進していかなければならぬなど、まだまだ私が責任を持ってやるべき事はたくさん残っております。この12年近く町民の思いを感じ、やってきました、今後も町民と一致団結してやっていけば、伊仙町はどこよりも発展する可能性があります。



交流人口の増加や、徳之島の伝統・文化の情報発信拠点として今後の利用率向上が町の活性化へとつながる。(写真：徳之島なくさみ館)

問

定 (TPP) 交渉参加に伴うわが町の農業政策について問います。新聞報道等によると、政府は去る5月21日に農林水産業の強化策を議論する「農林水産業地域の活力創造本部」を設置し、初会合が開かれております。その会合で安倍総理は、あらゆる努力をかけて農業を若者の魅力ある産業にし、日本の農村、漁村、ふるさとを守ると強い決意を表明しております。今後、10年間で農業所得を倍増させる、農業の成長なくして地域の成長、発展、経済の成長安定はないと明言しています。また農林水産大臣も、この本部の議論の結果を踏まえて、来年度予算の概算要求に反映させた

す。それらを実現するためにも私は、4期目に向かって全力で取り組んでいく覚悟です。

答

このTPPを反対することは、アメリカの今までの呪縛から我々を解き放つ運動でもありません。そして、農業だけでなく、医療の問題、それから金融問題、特許の問題など、多くの問題が複雑で、あらゆる国の利益が絡んでい

の結果を農業政策に反映させるなど、体制づくりを早急に行う必要があると思われ、町長の見解を問います。

問

医療と少子化対策について、去る5月16日付の新聞誌上に、来る10月から徳之島に産科医が不在になるという記事が掲載されておりました。また、同日開催された全郡議員大

会に、徳之島の産科医の確保にかんする議題が緊急提案され、全会一致で採択されたのは、既にご承知のとおりであります。産科医不在は、子宝の島の緊急事態です。今後、徳之島の産科医の確保をどのように進められるのか町長に問う。

答

三町で連絡を取り合って、この産科医の不在ということ

は、決してあってはならないということ、いろいろな三町の自治体から補填をして、産婦人科医の確保に乗り出していくということ、今募集をしたり、いろいろと活動をしているなかで、徳洲会病院がネットで応募をしたら、3名の方が公募で来られております。今後、このような問題を今までと同じように1人ずつ産婦人科医と小児科医を確保するため、四苦八苦するのではなく、徳之島には最低2人の産婦人科医が常勤する、小児科医も常勤する、麻酔医も常勤するといふなかであれば、今年間230前後のお産がありま

すけれども、その中で里帰り出産がほとんどできない状況でありますけれども、里帰り出産もできると、またさらにあの徳之島、子宝の島に行けば安心して子供を産むことができるというふうなステータスをつくりあげていくことができませぬ。先程も申し上げましたが、今三町や病院との間で連絡を取り合っています。これは単に徳之島だけの問題ではなく、与論、沖永良部、喜界島、奄美大島本島においても共通の課題であるという趣旨を理解して頂き、議員大会で採択されました。今後、県として県医師会、そして大学とも問題解決のために協力していこうという、今大きな流れができたところであります。この流れは、「徳之島の医療と福祉を考える会」で、医療サミットをした結果、このような大きな流れになってきたというふうに考えております。



佐藤 議員

問 亀戸住宅には、現在子供の遊び場がない為、駐車場または県道で遊んでおり、非常に危険であります。これらの件から公園施設はできないものか問う。

答

亀戸住宅は、県道に面していて、遊び場のない小さい子供達は、県道に飛び出したりして大変危険な状況にあると思えます。現在の子育て世代は、共働き世帯が多く、安心して子供を遊ばせる事ができず、そこに暮らしている住民の交流の場となる公園は、必要と思われれます。県によると現在の亀戸住宅の規模では公園の併設は厳しいとの事でしたので、町事業として、旧住宅跡地、もしくは土地提供者の場所等を確認して、将来公園設備ができるよう頑張りたいと思っております。



県道と隣接する亀戸住宅。撮影時にも子供たちが駐車場と反対方面の道を往来し、車のドライバーも住民も注意が必要な状況である。(写真：亀戸住宅)

思います。

問

西部地区には、明眼神社をはじめ、7つの町指定の史跡があるが、管理体制はどうなっているのか。

答

集落内にある神社や史跡あるいは学校内にある遺跡については、地域住民や各学校等で随時管理をいただいているところですが、その他につきましては、社会教育課のほうで、環境課の職員の応援をいただきながら、必要に応じて除草作業など行い、管理をしています。

問

犬田布中学校のブロック塀が昨年度の

台風災害で倒れたままだが、修復する計画はあるのか。

答

犬田布中学校のブロック塀の件ですが、昨年の台風の際NTTの電柱が倒れたためにグラウンド側のブロック塀が倒壊しました。被害状況をNTTに連絡しますとNTT鹿兒島の方で補修工事をすると言う返事でした。現在下請けの西部電機さんに徳之島の業者の見積りをお願いしている所です。児童生徒の通学路の安全確保から早くに工事を完成させるように再度要請をいたします。

問

西部地区の水道水から、石灰または砂利が出てきたと苦情が多いが、原因と対策はどうなっているか問う。

答

現在西部地区全域が硬度の高い地下水への依存度が、高く石灰分が浄水施設や、また配管内、町民の皆様の各種機器に付着している状況にあります。特に布設年数の長い配管、この中にはかなり付着



杉並 議員

問

重点分野雇用創造事業について募集方法が公募とありますがどのような方法で公募されたのか問う。

答

本事業におきまして継続雇用ができないため平成23年度に募集した方たちを緊急雇用創造事業で計画していない方と雇用計画をいたしたということです。

問

従事する業務は、伐採作業となつているがギンネム、モクマオウなどの地域で伐採されたのか場所・面積・数量を町内図でお示しをいただきたい。

答

面積と数量に関しては、厳密に報告義務を課しておりませんでしたので場所・本数・面積等は作成してございません。

問

外来種の生息域調査とあるが町内調査の実態を町内図で示し、説明を求める。

答

先ほどの報告義務がとられていないということと生息地域の調査にしましては、目視による調査並びに町民からの要望で伐採地域を決定して伐採を行つてまいりました。

問

高齢者等肉用牛導入事業基金及び伊仙町肉用牛特別導入基金について

平成24年度61頭減になつた大きな原因は何

問

なのにかそして61頭の2,070万3千円の算定基礎はどのような計算なのか答弁を求めます。

答

平成24年度におきましては、牛が328頭、牛の貸付金額が1億221万4千円で現金が5159万8千円ということと合計1億5,381万2千円なり牛が61頭減りまして2,302万7千円の減額となつています。



肉用牛導入事業により、畜産分野の価格相場相場で安定してきたが、導入に伴う貸付金の償還が履行されなければ、基金の運用は頓挫し、価格相場へも影響を及ぼすことになる。(写真：徳之島中央家畜市場)

問

書類不備等の問題で保証人に対する請求事務が停滞している状況である。是正策として平成20年7月から借受者と保証人の印鑑証明と納税証明の

添付を義務付けている。なお、飼養能力と補償能力について飼養状況調査等実施を行っている。平成20年7月以前の借受者についてどのような措置を行つていくつもりか伺う。

答

平成20年度以前については保証人さんと話すときに印鑑証明がないということとその事務作業も順次進めていきたいと思つております。1回保証人としっかりお話をして本

当に保証人になつたかどうかその辺の確認作業をやつていかなければと思つております。

問

年度別貸付頭数、滞納額、本人死亡、返済能力のない者等について資料をもつて提出していただきたい。

答

年度が変わりましたので再度精査して提出するようにいたします。

問

肉用牛特別導入事業基金については、死亡した飼養者、高齢者等肉用牛導入基金について、

答

貸付した牛が追跡できない7件に関しては、財務の予算が許す範囲で一般財源の繰入れもよしとする。その他の方や返済能力のない方に対しては、さらに回収の努力を経済課に要望する。伊仙町行政調査会の結論が出ておりますが、町長の答弁を求めます。

問

基金でございまして処理をしいかなければならないと思つております。亡くなつた方々、基金を払う能力のない方々に関しましては、これを町のほうで補填せざるを得ないというふうに考えております。

問

行政運営調査会の結論として出しているが、本年度中に処理できるか。

答

死亡されている方々からおとしに800万ぐらい町の一般財源から入れているような状況でございます。その中で今年いっぱい3,700万の滞納金を処理しろということとは、

問

不可能だと思つております。

伊仙町農業振興計画書の中に平成24年度は何頭か、平成25年度は目標は何頭か、平成26年度は何頭か。伊仙町肉用牛生産近代化計画の目標平成27年度が6,860頭と

答

現在、平成24年2月1日の数字 平成24年度の農家戸数525軒、飼養頭数が5,430頭そのうち成牛の頭数が3,190頭、育成牛が338頭、子牛の頭数1,902頭でございます。現在町有牛の導入に関しては、今まとめている状況です。



永岡 議員

問

2年連続不作のサトウキビ農家、さらに価格大暴落のバレイショ農家に対しての救済策はないのか。

所得向上ができたのか。足腰の強い農業、農家の後継者ができたのか。

答 平成14年度から12年間農業生産額が着実に伸びてきていると思っています。

問 農業をとりまく環境はきびしい。農家や圃場を回り現状を把握しているのか。ハウス事業では未活用、未使用があり成果は出ていないと思われるが、指導努力が足りないのではないか。

答 私はかなり回っていると思っています。経済課の職員も農家の方々に説明をしていると思います。

問 長命草の圃場試験の結果はどうであったか。出荷ができず農家(組合員)は困っているときいているがどうか。

答 長命草に対する期待があり、地元で工場もつくり乾燥して錠剤サプリメントをつくっていく計画中です。



生きたままの長命草(ポウフウ)の種子を採取し、乾燥させた。この種子は、島の海岸沿いにも生息している。長命草は、新規作物として活用されるか。(写真: 中央農業活性化の起爆剤となるか。)

問 交付金、補助金頼りの財政運営であるが公共事業での無駄はないか。又財政運営上支障をきたしていないか。

答 特に支障はきたしていない形でございます。起債にあたる町民1人当たりの金額(借金)は120万円で国民1人当たり770万円という形でございます。

問 食肉加工センター(屠畜場)は2億5千万円、1年4ヶ月も稼働していない。完成検査も終わり工事代金も支払われているのにその後も1千万円も修理費とか補修費その他、予算執行されて

いるがこれが無駄遣いではないと言えるのか。

答 特産品製造販売プロジェクト事業(伊仙町特産品製造販売工房)の実施計画について議会や町民への十分な説明もありません。事業をむりやり進めようとしているのか。

問 3億円以上の事業、町の大事な財産をなぜ指定管理者制度で無償で貸すのか。なぜ地元企業の製糖工場を育成しないのか。建設用地にしても色々問題があるが実施計画の説明を求め

答 私は行政が最大限の努力をしなかったということは深く反省しております。

は申し訳なく思っております。

問 職務怠慢で努力していないいい加減な書類提出であり陳謝で済む問題ではない。町長はどう考えているのか。

答 土地に関する問題はさまざまな手続きが必要で早急に対応した結果だったと思います。議会の方々に説明が足らなかつた事におわび申し上げたいと思います。

問 町長の答弁はいつも同じ「申し訳ございませんでした」町民の私たちが理解をしてくれると思いませんから、会期も延長し、内容もきちんと精査できない不自然な流れの中、専決した予算で強硬にこの事業を進めるのか何う。

答 現在のところ大きな問題はないと私は思っております。このままこの事業は推進していくことが現時点では正しい方向だと思っております。短

答 資料の違ったことに対して

かと思っております。

問 この土地は担保に入っていたと聞いていますが、担保物件を買う約束をした。登記もできないのに町が買う事で事業を進めてきた。これが正しい事業の計画と思っておりますか。

答 2つの担保になっていりましたがお金は返したけども担保は外せないというケースが多い。担保を外す作業をしている途中で、担保を外した後分筆をして購入の契約が結べるといふことです。

問 全く私には理解ができません。なりふり構わないようなことをやってでも事業を進めるといふ。町民をだますようなことで伊仙町笑い者になりますよ。今後の流れを注視していきたいと思っております。

答 不祥事の再発防止と職員

資質向上の問題に

ついて取り上げていただきまして大変ありがたく思います。職員の方でも非常に緊張感があり、刺激になります。

問

きちんと指導していくのは町長、副町長の責任です。ありがたく思われるのは迷惑です。いろんな人から相談も受けました。町長、副町長は、もっとしつかり真剣に取り組んでもらわないと困ります。



明石 議員

問

みなさん、こんにちは。5番明石秀雄でございます。通告してある、質問の順序が変わりますが、明確な答弁をお願いします。まず最初に、財政についてであります。財政状況の分析にあたっては類似団体等の比較が一つの手法として挙げられていると思いますが、我が伊仙

町はどうであるか、伺います。中期の財政健全化計画、もしくは、財政運営見通しがあるか伺います。政権が民主党から自民党にかわり、使い勝手のいい交付金制度から補助金制度に変わりつつあるが、対応はできるのか伺います。

答

財政問題に関しては総務課長補佐のほうから具体的に答弁をしていただきます。財政指数としては、本町は0.11類似団体は0.26起債残高本町86億9,383万9,000円、類似団体52億9,444万2,000円財政調整基金4億6,618万円、類似団体平均6億7,169万4,000円です。財政状況分析は9月議会で報告できるものと思っております。

問

財政事情の下半期をみると、伊仙町の状況は極めて厳しい状況にあります。行政の効率化、簡素化に徹底的に取り組み、財政運営に関する基本的な考え方が示されたところ

であります。財政運営が厳しいことは、国も一緒であります。今後、交付金等減額されることが予想されますが、必要な財源を確保して、過疎計画、辺地計画等計画通りできるのかうかがいます。

答

財政事情の中で、年次ごとの予測シミュレーションを行っております。平成27年、28年が最も厳しくなる状況であります。今後大型公共事業は凍結することに決定しております。いろんな施策を統合しながら乗り切っていくかなければならないと思っております。

問

平成24年9月議会において質問をしました漁業振興策は、その後のようになつたのか伺います。船揚場の整備の件、トイレ整備の件はどうなっているのか。その後の対応について説明をいただきたい。また、伊仙町過疎地域自立促進計画の中に、面縄港4,000万円、前泊漁港4億円、鹿浦漁港2,000万円計画されている

が、整備したのか、その進捗状況について伺います。さらに、辺地対策事業計画は計画通り進んでいるか。その進捗状況について伺います。

答

水産振興におきましては、徳之島漁協長から以前から指摘を受けております。漁業生産額、若い漁業者が少ない等、今後とも、漁港の周辺整備も含めて奄美振興事業の中で積極的に取り組まなければならぬと思っております。過疎対策事業については、漁港長寿命化計画を策定後、計画見直しをしまいたいと思っております。辺地対策の道路改良については、路面正常化及び、法面安定度調査事業により調査後、必要箇所は、順次整備をしていく計画であります。

問

現在、中断している箇所についてはどうするのか伺います。

答

優先的に入っていくということになると思えます。

問

漁業集落再生支援事業であります。財政的に厳しいことは承知しておりますが、国家強靱、防災等の観点からもう少し手を加えていったらどうかと思えますが、町長最後に、一言お願いします。

答

この3期の間、漁業再生、漁業推進にしましては確かに、いろんな支援が少なかったと思います。他の島に比べて徳之島全体の漁業が遅れている中で、逆にそのことも新しい産業育成になる可能性もあります。ただ、明石議員が指摘した通りこの財政難をまずは乗り越えたのちにそういう計画として長期的な計画の中で考えていく



漁業集落の活性化や防災等にも配慮した港湾整備を行うことで、販売面や地域資源である漁場の生産性の向上が期待される。(写真：面縄港)

必要があると思います。

問

最後にあります。が、財政が厳しい、もうこれ以上身動きが取れない中で、やはり漁業している人たちにも、今少し支援をしていただきたい。刃地債、過疎債など、実のある計画書にしたい。ただきたい。強く要望して、一般質問を終わります。



琉 議員

問

安倍総理は、あらゆる努力を傾けて日本の農林水産業を守り、次の世代を生きる若者に魅力ある農業の発展と日本経済の再生を強い決意で訴えております。国の農業政策に対して、私たちの伊仙町において、具体的にどの様な農業政策を計画しているのか。

答

伊仙町の中長期の農業計画をつくり、

農家の皆様の意見を聞き、各農家が5年後をどの様に見据えているかを反映させ、農地利用計画と担い手を明確にした上で、より具体的な方向性を打ち出し、これまで一次産業に限定されていた農産物の栽培と販売を1次加工や2次加工を加えて6次産業化への道筋をつける方向性も明確に打ち出して、より収益性の高い農業を目指してまいりたいと思います。



本町における産業は、第1次産業が主流であるが、その産業に付加価値を付け新たな産業的結びつきをこの戦略にするのではないだろうか。(写真：南西糖業伊仙工場周辺)

問

特産品製造販売プロダクト事業について、3月議会でも大きく論議されましたが、企業誘致と地元生産業者育

成の2点から質問いたします。企業誘致の観点で「モクモクファーム」の誘致の点では大きく評価されるが、地元生産業者との同意と今後の支援策は考えているのか質問いたします。

答

町内の同業者との話し合いの中で、現在個人業者になつてい

問

観光企画について4百年の歴史を持つ闘牛と、島の島唄や8月踊りなど島の伝統文化の情報発信施設としてオープンした徳之島なくさみ館の今後の運営計画について、どの様な取り組みをされているのか質問致します。

答

今後の闘牛大会は、定期的な開催

と、JALなどの航空会社との連携によるバックツアー等、JALとの交渉、意見交換を闘牛連合会、徳之島観光連盟、行政を含めて行っており、10月から実現すれば、交流人口の拡大、世界自然遺産に向けた取り組みも加速すると期待され、10月の全国闘牛サミットも伊仙町で開催されます。新徳之島観光連盟より一名、徳之島なくさみ館にも、観光案内兼なくさみ館の使用展示室の担当を置くことになり、今後の運営に関して維持管理には、場内の広告看板等も充て、伝統文化の民謡や8月踊りの芸能に關しても社会教育課の協力を得ながら伝統文化の情報発信をしまいたいと思います。

問

大久保町政について過去の激しい選挙、大久保町長が一期目挑戦、二期目からは、「政争から政策の町」を訴え、町政も安定してまいりました。私達、町議会議員も3年

答

前には、無投票という過去に例のないことが起こりました。議会と執行部、また町民と議会、全力で努力をすれば町民の評価もされます。今対抗馬がないと言う中に、大久保町長に四期目に向けての抱負と決意を伺います。

我々はこれから、この町をさらに発展させていかなければならないと思っております。伊仙町議会と伊仙町執行部の両輪としてそして是は是、非は非と言う形で忌憚のない議論をしながら、そして議論を町民にも理解していただき我々はこの力を総結集して、お互いを尊敬して町民が皆前向きに向かつていくんだと言う事を、私は強く、これまで以上にリーダーシップを取っていく覚悟でございます。そういう意味において、私は何の私心もありません。この町が豊かになるために命をささげたいと思っております。私はよく言わ

※一般質問通告書に関する詳細等は、伊仙町公式HP内にあります「暮らし情報」の「伊仙町議会議事録」に掲載してありますので、ご覧ください。

れます。何でもあんな病院の院長もやめたのか。給料はめちゃくちゃ減ったじゃないか。しかし、それはお金の問題じゃないんです。この町の誇りのためです。私は今まで以上に命がけで頑張っている覚悟でございますので、どうか、伊仙町議会の方々がさらに品格も高め、そしてみずからを磨きそして成長して、お互いやっていけることをお願い申し上げます。私の出馬表明といたします。

「町民の声 (第3号)」

奄美信用組合伊仙支店 支店長 みゆき こういち 幸 浩一 さん

Q 自己紹介と伊仙町に着任して感じたこと。

A 私は平成23年4月に伊仙町に着任し、今年で3年目になります。出身は奄美市ですが、父が伊仙町阿権出身です。

伊仙町は「闘牛」と「長寿」の町の印象があり、大島本島と比べ山が少なく町全体がなだらかな起伏の形状で、特に農業をするには適していると感じています。また、町民の健康増進、予防医療の為に「ほーらい館」は、私も利用させてもらっていますが、充実した施設を割安な料金で利用できるこの取り組みは素晴らしいと思います。またこのような取り組みを、出身地の奄美市にも紹介し、要望しているところであります。今後も、利用者への付加価値を高める為にも、サービス面などの見直しを積極的に行い、多くの町民に利用してもらい継続可能な経営に期待します。



Q 伊仙町をPRするために必要と感ずること。

A 「歴史、伝統文化、風習、自然、闘牛、長寿、出生率」など世界に誇れる事柄についての情報発信を地域全体で取り組むことが必要と感じます。その為には、伊仙町の良さを住民一人一人が再認識し、世界に誇れる財産が身近に存在する地域であることに目を向け、気づくことが必要と感じます。

Q 伊仙町議会に対しての要望

A 議会において、税金の使い道など行政機関のチェック機能としての役割だけでなく、議員同士の建設的な議論のもと、町民の声が反映される議会になるよう期待します。

Q 今後の伊仙町に期待すること

A 伊仙町は今後「国立公園化」、「世界自然遺産登録」と大きな期待が寄せられる環境が整ってきているようですが、行政と地域住民が当事者意識を持って協力しながら実現することを期待します。また、自然災害、害虫などの影響で収益力に不安定な基幹産業である農業並びに経営環境の変化が激しい状況の商工業に対する支援、振興で経済基盤の強い地域づくりに取り組み、町民の所得向上と伊仙町財政が安定することに期待します。

Q その他

A 私ども奄美信用組合は、昭和47年4月に伊仙町に支店開設し、41年が経過しています。これまで、地元住民、組合員の皆様のご支援により地域経済の発展に、地元の金融機関として大きな役割を果たすことができましたことに心より感謝申し上げます。つきましては、今後も伊仙町並びに地元住民、組合員の皆様からの負託にお応えできるよう、職員一丸となって全力で取り組んで参りますのでご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

徳之島に特別支援（養護）学校設置を求める署名活動のご協力依頼について



これまで何度か本誌で取り上げました、「鹿児島県立徳之島農業高校跡地に大島養護学校分校の設置について（伊仙町議会提案）」の要望について、今年4月に、徳之島高校の空き教室を借り受けて「訪問教育」という趣旨の「特別支援教室」が開始されることとなりました。この「特別支援教室」が始まったことにより、障がいがあるお子さんと暮らしていらっしゃる保護者の皆様方におかれましては、生まれ育った環境で、なおかつ一緒に生活しながら学校へ通うための窓がやっと開けたことと思います。

しかしながら、空き教室を借りての訪問教育にも限界があり、専門性を持った教職員の確保や施設の充実、最終的には就労に至るまでの道のりがあるため、楽観視できる状況ではありません。つきましては、現在そういった障がいがあるお子さんがいらっしゃる保護者の皆さんが中心となり設立された「徳之島障がい児親の会」が以下のポスターと署名用紙を持って「徳之島に特別支援（養護）学校設置を求める」署名活動を行っておりますので、町内外をはじめ全国の皆様のご理解とご協力をお願い致します。なお、この活動における署名用紙及びポスター（PDF）を伊仙町の公式ホームページにてダウンロードできるように致しますので、併せてご利用頂きますようお願い致します。

議会のうごき

- 平成25年 4月
 - 4日 第1回理事会に議長が出席
 - 7日 第46回戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦士慰霊祭に議員が出席（犬田布岬）
 - 8日 各小学校・各中学校入学式
 - 11日 議長・局長合同会に議長が出席（奄美市）
 - 19日 徳之島地区防犯組合連絡協議会会計監査に議長が出席（徳之島警察署）
 - 26日 県政説明会に議長が出席（鹿児島市）
- 平成25年 5月
 - 1日 公明党離島振興対策本部現地意見交換・懇親会に副議長が出席
 - 10日 議会広報委員会（議会委員会室）
 - 16日 議会運営委員会（議会委員会室）
 - 17日 第56回奄美群島市町村議会議員大会に全議員が出席（天城町）
 - 21日 平成25年度伊仙町商工会通常総会に議長が出席
 - 22日 鹿児島県離島振興町村議会議長会臨時総会及び研修会に議長が出席（鹿児島市）
 - 23日 鹿児島県新港荷捌場の視察に議長が出席（鹿児島市）
 - 23日 議員研修会に全議員が出席（鹿児島市）
 - 25日 先進地研修に議員が出席（愛知県大府市けんきの郷・三重県伊賀市 中林牧場・モクモク手づくりファーム）
 - 29日 ほうらい館運営審議会に議長が出席（ほうらい館）
 - 31日 平成25年度徳之島地区防犯組合連絡協議会役員会並びに総会に議長が出席（天城町）
- 平成25年 6月
 - 5日 正副議長研修会に議長・副議長が出席（霧島市）
 - 10日 平成25年第2回伊仙町議会定例会告示
 - 11日 議会運営委員会（議会委員会室）
 - 13日 奄美群島航路対策協議会総会等に議長が出席（奄美市）
 - 18日 平成25年第2回伊仙町議会定例会開会

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承ください。

編集後記

町民の皆様、毎日のお仕事お疲れ様です。早いもので、今年もあと4か月となりました。長い夏休みも終わり、学校は2学期が始まり、私たち大人においても、年末まで大変慌ただしい時期となります。しかし、道を歩いてみると、梅雨が明けたころから、まとまった雨に1カ月以上も恵まれず、それにあわせて夏の残暑で人も農作物も少し元気がないような気がしました。実際私も職業柄、屋外で仕事をすることが多いのですが、やはりこの暑さには勝てませんでした。しかし、そう弱音ばかり吐いてもいられません。議員として、町を明るく元気にすることが責務でもありますので、この残暑にも負けない強い信念を持って、議会議員一同町政発展の為、さらに熱く頑張りたいと思います。

今年、奄美群島復帰60周年の年もあります。祖国復帰の父・泉芳朗先生が残した、この島に対する思いや心意気を私たちが受け継ぎ、その思いを政策に反映し、住みやすい町をつくっていくことをお誓い申し上げます。

(文責・前 徹志)

- 議会広報編集委員会
- 委員長 琉 理人
 - 副委員長 清水喜次男
 - 委員 永岡 良一
 - 委員 前 徹志
 - 委員 伊藤 一弘